

在宅医療資源がない市区町村の状況

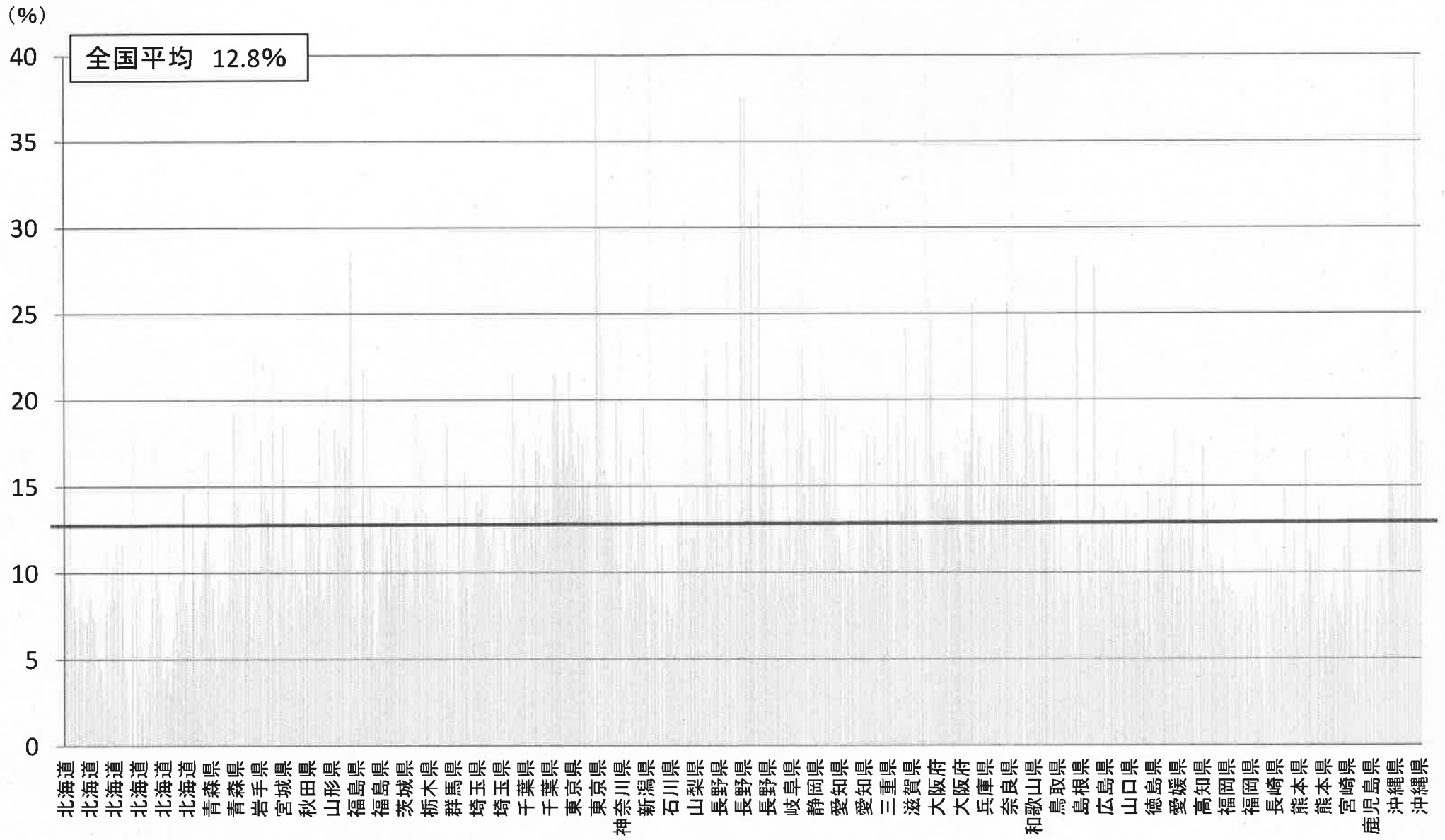
- 基礎自治体の3割には、自圏域内に、在宅療養支援診療所(在支診)の届出をした診療所がない。
- 同様に3割には、自圏域内に、訪問看護ステーションがない。

在宅医療資源のない基礎自治体

		計	市	町	村	23区
全自治体		1,741 (100.0%)	789 (100.0%)	745 (100.0%)	184 (100.0%)	23 (100.0%)
在宅療養 支援診療所	強化型がない自治体	1,123 (64.5%)	325 (41.2%)	631 (84.7%)	167 (90.8%)	0 (0.0%)
	従来型がない自治体	560 (32.2%)	65 (8.2%)	353 (47.4%)	142 (77.2%)	0 (0.0%)
	両方ない自治体	487 (28.0%)	40 (5.1%)	316 (42.4%)	131 (71.2%)	0 (0.0%)
在宅療養 支援病院	強化型がない自治体	1,438 (82.6%)	553 (70.1%)	698 (93.7%)	183 (99.5%)	4 (17.4%)
	従来型がない自治体	1,505 (86.4%)	594 (75.3%)	712 (95.6%)	182 (98.9%)	17 (73.9%)
	両方ない自治体	1,293 (74.3%)	442 (56.0%)	666 (89.4%)	181 (98.4%)	4 (17.4%)
訪問看護ステーションがない自治体		517 (29.7%)	14 (1.8%)	344 (46.2%)	159 (86.4%)	0 (0.0%)

(出典) 在支診、在支病：厚生労働省医政局調べ (平成26年3月31日時点)
 訪問看護ステーション：介護サービス施設事業所調査 (厚生労働省) (平成26年10月1日時点)

死亡者数に占める自宅で死亡した者の割合(市区町村別)

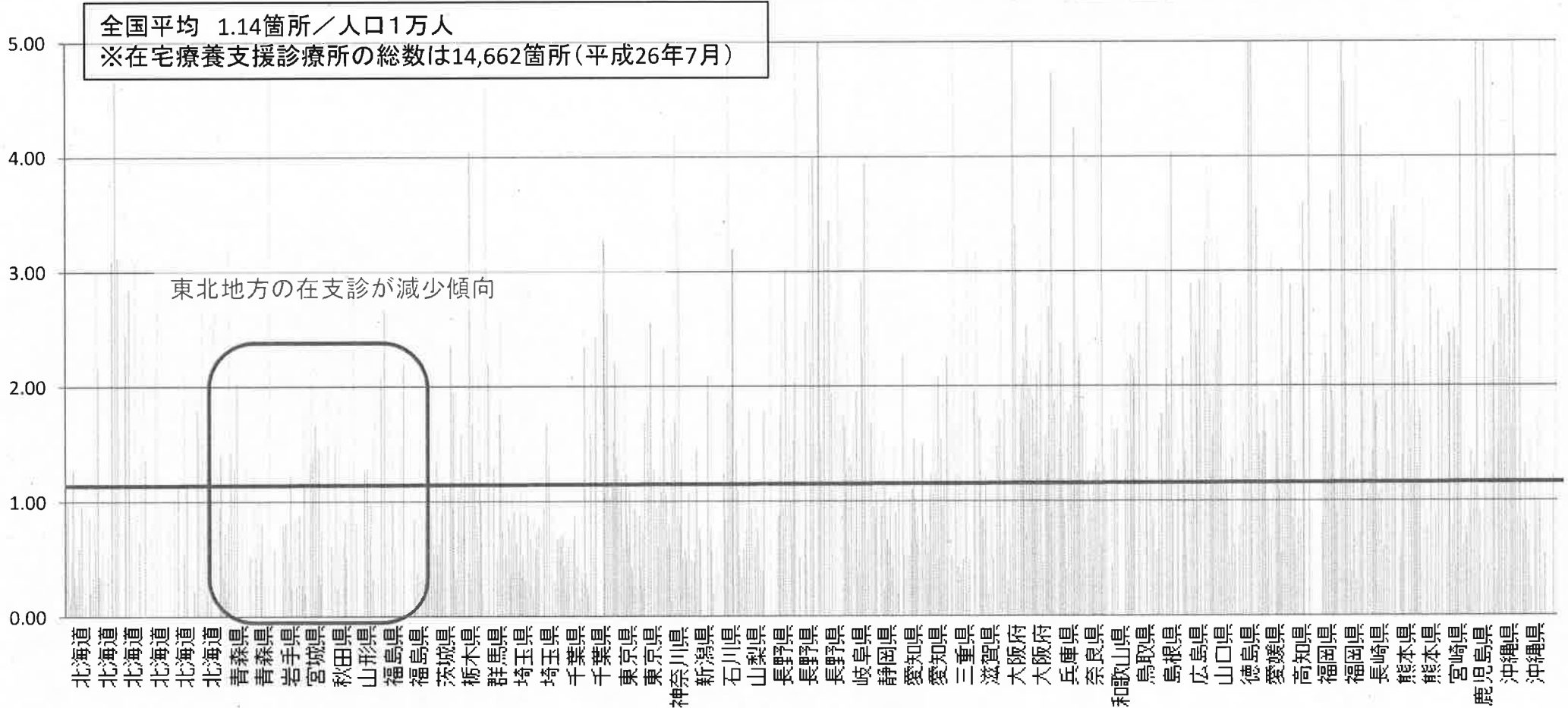
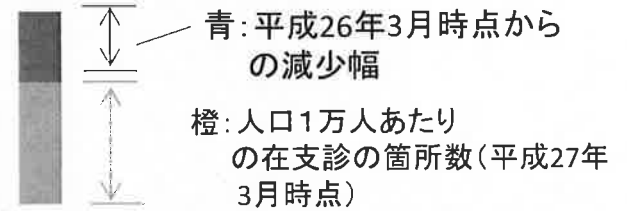


在宅療養支援診療所数(市区町村別)

- 人口1万人あたりの在宅療養支援診療所数を地域別にみると、西高東低の傾向。
- 26年から27年の1年間で、東北地方の在支診が特に減少している。

【グラフの見方】

- ・1,741の基礎自治体別に、人口1万人あたりの在支診の施設数を計上。
- ・27年3月時点の値を橙色で表示した上で、26年3月→27年3月で減少している場合は、減少値分を青色で表示した。



訪問看護ステーション数(市区町村別)

(箇所/人口1万人)

全国平均 0.6箇所/1万人
 ※訪問看護ステーション総数 7,903施設

